

平成22年

豊岡市政10大ニュース

平成22年は、山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク認定をはじめ、コウノトリ未来・国際かいぎの開催やドクターヘリの就航、ドクターカーの運行開始など、本市が世界へ大きく羽ばたく出来事があり、さまざまな事業が進められました。これらの中から市政10大ニュースを選びました。

《問合せ》秘書広報課広報・交流係 ☎23-1111

(日付順)

●生物多様性にかかる各種事業を展開し世界にアピール、国連会議などの配付資料に豊岡の取組みが先進事例として掲載

(3月1日～10月29日)

「国際生物多様性年」である今年、生物多様性にかかる各種事業を展開し、市の取組みを世界にアピールしました〔3月・生物多様性条約事務局長が来訪、生物多様性EXPO2010に出展(大阪市)、10月・生物多様性条約第10回締約国会議関連行事、生物多様性国際自治体会議などに参加(名古屋市)〕。さらに、国連会議などで配付された資料に豊岡の取組みが先進事例として掲載されました〔「生態系と生物多様性の経済学(TEEB)」〕、「Satoyama」など〕。

●市の教育を支える重要計画「豊岡市教育行動計画」「豊岡市次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)」「豊岡市学校給食施設のあり方計画」を策定(3月23日、11月16日)

3月、子どもたちが生涯にわたって生き生きと輝く教育を目指して「豊岡市教育行動計画」を、子どもが健やかに生まれ、子育てに夢と希望の持てる社会づくりを目指し「豊岡市次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)」を策定しました。また、11月、「豊岡市学校給食施設のあり方計画」を策定しました。

●総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」がオープン(4月1日)

市民の生涯を通じた健康づくりを支援するための施設として、総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」がオープンしました。

●ドクターヘリ就航。ドクターカー運行開始(4月17日、12月5日)

兵庫、京都、鳥取の3府県共同によるドクターヘリが、4月に日本海側で初めて運航を開始しました。また、ドクターヘリが悪天候などで運航できない場合を補完するドクターカーが、但馬3市2町共同で12月に運行を開始しました。公立豊岡病院を拠点に、但馬地域の命のリレーシステムが飛躍的に向上しました。

●市民や職員の防災能力向上の新施策実施(7月5日)

市民や地域の自主判断能力の向上を図るため、FMジャングルの市番組「防災ワンポイント」放送を始めました。また、職員の災害対応能力の向上を目指し、年間を通じた防災研修を7月から実施しています(研修には、国や県の職員、区長、消防団員も参加)。

●山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定(10月3日・現地時間)

ギリシャで開催された世界ジオパークネットワークの会議で、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定されました。それに先駆け、4月に開催されたユネスコ国際ジオパーク会議(マレーシア)で、山陰海岸ジオパークの特徴などを世界にPRし、8月には、世界ジオパーク委員が現地を視察しました。

●「こうのとり」名がJR特急名、宇宙ステーション補給機(HTV)の愛称に決定

(10月20日、11月11日)

10月、特急「北近畿」が来春に特急「こうのとり」に名称変更となることが決定しました。また、11月、国際宇宙ステーションへ補給物資を運ぶHTVの愛称が「こうのとり」に決定しました。『「こうのとり」は、大切なものを運ぶ鳥としてのイメージを持つことから、国際宇宙ステーションに重要な物資を運ぶHTVの任務内容を的確に表している』と、決定されたものです。

●第4回コウノトリ未来・国際かいぎを開催(10月30日・31日)

コウノトリの野生復帰事業を世界的な視野で見つめ、発信し、取組みをさらに深めていくため、「第4回コウノトリ未来・国際かいぎ」を開催しました。それに先駆け、分科会などを開催しました〔4月～8月・SMB C(三井住友銀行)生物多様性セミナー(名古屋市)、7月・第1回生物の多様性を育む農業国際会議、8月・世界一田めになる学校in東京大学(東京都)、10月・コウノトリの生息地を全国に広げる市民かいぎ)〕。

●地域主体の公共交通「チクタク奥山」が運行開始(11月3日)

市営バス「イナカー」の見直しに伴い、出石町の奥山区・和屋区・榎見区の関係者らが、自ら主体となる地域の乗合タクシー「チクタク奥山」が運行を開始しました。今後、さまざまな検証を行い、安定運行が確認できれば、本格実施と位置付けます。他地域での事業導入の事例となることが期待されます。

●水道料金の改定が決定(12月17日)

安全・安心な水道水を安定して供給するため、水道料金を、資産維持費の導入、基本料金と従量料金の見直し等を基本に検討し、平成23年4月から改定することが決定しました。

「円山川下流域及び周辺水田」が、ラムサール条約の 湿地登録に向けた国内潜在候補地の1つに選出されました！



▲円山川下流域・ハチゴロウの戸島湿地を望む

ラムサール条約は、世界の重要な湿地を守る国際条約で、現在、日本で37カ所が登録されています。

このたび、市内の「円山川下流域及び周辺水田」が、登録に値する「潜在候補地」の1つに選定されました（9月30日環境省発表）。

絶滅危惧種のコウノトリやヒヌマイトトンボ、また、ミズアオイやヒメシロアサザなどの希少な水生植物、サケやイトヨなどの豊富な魚類を重層的に支えているエリアとして評価されたものです。

《問合せ》コウノトリ共生課

☎21-9017

日本でコウノトリが絶滅した昭和46(1971)年、その同じ年に、湿地に関する国際会議がイランの都市ラムサールで開催され、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。この条約のことを、開催地の名にちなんで「ラムサール条約」と呼んでいます。

その潜在候補地として評価を受けた豊岡の自然を、まずは自分の目で確かめてみる。条約湿地への登録に向けた一歩を踏み出すべく、「地域を知る」ための行事を開催していきます。

ラムサール条約湿地登録へ！
キックオフイベント
第一弾

「豊岡の自然の魅力^{オー} Oh!自慢①」 ～「♪鳥くん」とおしゃべり＆ 野鳥観察！～



野鳥研究者であり、シンガーソングライターでもある「♪鳥くん」ワールドを満喫！

と き 平成23年1月30日(日)
午前11時～

と ころ じばさん但馬 2階ホール

内 容

話題の鳥タレント「♪鳥くん」が豊岡へ！一緒に豊岡の自然を見つめ、ラムサール登録について考えよう。

但馬野鳥の会・コウノトリ市民研究所が行う冬鳥観察会と併せて実施します。

《第1部》♪鳥くん講演会など 11:00～12:30

鳥の目、人の目で、豊岡の特徴的な自然を見つめよう！

《休 憩》

豊岡自慢のひとつ「コウノトリ育むお米」のおにぎりを食べよう！

《第2部》円山川下流域の冬鳥観察会(屋外) 13:00～15:30

♪鳥くんの解説付き観察会。こんなチャンス、めったにない！(移動は自家用車で行います)



▲野鳥観察の様子